

2003年生田緑地ゲンジボタル調査報告

亀岡千佳子*1 新村 治*2

The report of the firefly at Ikuta-Ryokuchi Park in 2003

Chikako KAMEOKA*, Osamu NIMURA*

1 はじめに

青少年科学館では1983年～1987年・川崎市自然環境調査Ⅰの水生昆虫調査で生田緑地の谷間の探勝路にゲンジボタルの幼虫が生息し、5月下旬頃から7月初旬頃まで成虫も多数発生していることが確認された。以来生田緑地のホタルについて注目し、ピーク時のみの発生数の確認作業を行い、1993年の青少年科学館紀要で木下が観察記録を発表している。その後、生田緑地内にはゲンジボタルを含め7種のホタル、ムネクリイロボタル、カタモンミナミボタル、ヘイケボタル、オバボタル、スジグロボタル、クロマドボタルが確認されている。(林1991, 川田・岩田・高橋・昆虫班1999)

1998年からはゲンジボタル成虫の初見日～終息日までの発生カウント調査をおこなっている。今年度で6年目になる。また、併せてスジグロボタルの幼虫の発光確認作業もおこなっている。調査は館職員と「かわさき自然調査団」の昆虫班であるが、2002年度から調査に加わってくれた市民の方も引き続きホタル調査員として今年度の調査に参加頂いた。2003年の調査結果がまとまったので報告する。

2 調査方法

設定した調査日の19時に青少年科学館に調査者が集合し、19時30分までに調査者を調査場所に向かわせ、19時30分から19時50分までの20分間に目視により発光を確認したホタル数を記録した。調査者が足りず、調査場所に調査者を張りつけることが出来ないときは、20分間に調査場所を巡回し調査した。数人で調査した場合、個人によりカウント数にばらつきが生じたが、その場で協議し、概ね平均数を記録した。記録は発行ホタル数の他に調査時の天気と気温を調査票に記入した。また、調査場所は昨年発生が確認された5ヶ所と、最近まで発生が確認されていたが現在は確認されていない場所の3ヶ所をくわえて8ヶ所とした。また、今年度はホタル発生数のピークにあわせ、6月22日19時40分から19時50分の間、8ヶ所の調査地に調査員を同時に張り付け発生数の調査をした。

3 調査期間

昨年は生物季節が例年より2週間から10日ほど早かったため調査開始日を早めに設定したが、初見日は6月に入ってからだった。今年も5月の連休時点で生田緑地の生物季節が1週間ほど早めであったが、ホタル成虫発生は6月に入ってからになると予想し調査開始日は5月29日からとした。消滅は7月中旬頃と予想し、調査終了日は7月15日とした。ホタル発生日は予想通りであり、調査期間は妥当なものであった。

4 調査場所

- ① 駐車場奥
- ② 奥の池
- ③ 奥の池南側谷戸
- ④ 旧岡本谷戸
- ⑤ 科学館奥
- ⑥ マレーゼの谷
- ⑦ 湿地帯下休耕田(ホタルの里)
- ⑧ 谷間の探勝路(木道)

の8ヶ所

5 調査参加者

新村 治	森下 祐子	佐伯 久美
永井 洋子	小峰 譲	岩田 芳美
岩田 臣生	佐藤 大樹	佐藤 善行
加藤 利奈	一澤 圭	一澤 麻子
岩片 紀美子	脇山 考史	野沢 興一
美馬 咲子	齊藤 はるか	国司 真
亀岡 千佳子	若宮 崇令	

(20名)

延べ調査者数 81名

6 調査結果

調査結果は表1

天気、気温は調査時のもの。

*1 青少年科学館

*2 ホタル調査員

7 まとめ

- 2003年の成虫発生時期は例年並み、発生数は約3割すくない。
- 生田緑地での初見日は6月1日、⑦湿地帯下休耕田(ホタルの里)、最終確認は⑧谷間の探勝路であった。
- 発生数は昨年と比べると平均2割減になっている。今年では2000年から2002年には確認されなかった②奥の池と、2001年、2002年と発生が確認されなかった③奥の池南側谷戸でホタルが確認された。また今年、しょうぶ園上藤棚池滝のあたりでホタルが飛翔しているのを確認した。(6月24日4匹、6月26日1匹) この場所でのホタルの確認は初めてである。科学館奥から風などにとばされたものか、近くの水辺で羽化したものかはわからない。一過性か来年度も同じ場所で確認できるか、注目すべき場所である。
- 各調査場所の最多確認数は、①駐車場奥(25)、②奥の池(1)、③奥の池南側谷戸(2)、④旧岡本谷戸(確認されず)、⑤科学館奥(18)、⑥マレーゼの谷(戸隠谷戸)(3)、⑦湿地帯下休耕田(ホタルの里)(69)、⑧谷間の探勝路(木道)(59)であった。

- 今年の発生数のピークは6月22日から24日にかけてであった。
- 今年度の調査では、予想ピーク時の6月22日に各調査地点に調査者を2名以上張り付き、19時40分から19時50分の10分間のホタル数を確認してもらった。より正確な発生確認をめざした。
- 今年度の調査から生田緑地のゲンジボタルの発生について概観する。2001年の発生数から2002年、2003年と生田緑地のホタルの発生数は減少傾向にある。ホタルの発生数は6年から7年の周期で発生数が増減するといわれている。2002年、2003年と減少してきた生田緑地のホタルが自然周期の減少なのか、それともこのままずっと減少を続けるのかはさらに来年以降も継続調査を続けて注目をしていかないとけないことである。

終わりに、暑くて多忙な中、会社や学校の帰りに青少年科学館に立ち寄り、調査に協力していただきましたたくさんの方々に厚く感謝申し上げます。

表1 2003年 生田緑地ホタル調査結果

月	日	曜日	天気	気温	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
5	29	木	快晴	20.6	-	0	-	-	0	0	0	0
6	1	日	快晴	21.3	-	0	-	-	0	0	1	0
	3	火	快晴	20.5	0	0	0	0	0	0	2	0
	5	木	快晴	22.5	0	1	0	0	0	0	3	0
	8	日	曇り	22.5	0	0	0	0	0	0	4	1
	10	火	曇り	20.3	0	0	0	0	0	0	6	1
	12	木	曇り	20.9	2	1	0	0	1	0	12	3
	15	日	曇り	21.2	0	0	2	0	4	0	14	7
	17	火	曇り	21.9	2	0	2	0	3	0	13	10
	19	木	曇り	24.3	8	0	1	0	5	2	32	20
	22	日	曇り	23.2	25	0	2	0	18	2	69	38
	24	火	雨	21.4	15	0	0	0	15	0	45	59
	26	木	雨	21.5	11	0	0	0	9	0	36	26
28	土	曇り	22.3	7	0	0	0	8	3	29	26	
7	1	火	雨	20.9	5	0	0	0	2	0	5	0
	3	木	雨	22.3	3	0	0	0	0	1	1	1
	5	土	曇り	23.4	1	0	0	0	0	0	3	6
	6	日	曇り	21.8	1	0	0	0	0	0	1	2
	8	火	雨	19.3	0	-	-	-	0	-	0	1
	10	木	曇り	22.7	1	-	-	-	0	1	1	3
	13	日	雨	21.2	0	-	-	-	-	0	0	1
	15	火	晴れ	21.7	-	-	-	-	-	-	0	0